

## 1 活動名

## 夏休み・冬休みの宿題 ～オンライン限定公開～

## 2 対象

小学部 4年生 5名

## 3 内容と取組の様子

- ・対象は、Ⅲ類型（重度・重複障害を有するもの）の学級に所属している生活面で全介助の必要な児童です。家族や教師による言葉掛けやスキンシップ等の働き掛けに対して、快・不快の意思を表情豊かに表すことができます。学校での活動ではタブレットを使用した際に、音楽や物語等の動画や自分たちを撮影したビデオ等に興味をもち、注視している様子が見られます。
  - ・Skype のクラスグループや限定公開の YouTube を活用して以下の活動に取り組みました。
- ①夏休みの宿題…主に教師による自作の動画配信。内容は、「歯をみがこう」「体操しよう」「夏休みを楽しく～大喜利～」など合計6本。休み中に一定期間ごとに配信を行いました。事前に保護者に、動画配信の主旨説明と動画視聴のために必要な登録について説明を行い、保護者の同意を得て動画配信を行いました。配信後、保護者からチャットに児童がパソコンやタブレットの画面を楽しそうに見ている画像が貼られ、数回繰り返し見ていることなどについて感想をいただきました。
- ②冬休みの宿題…夏休み同様の動画配信を行います。「ペープサート～大きなカブ～」 「にらめっこ～大喜利～」など合計4本程度配信します。



## 4 使用したツール(システム・アプリ・ソフト・教材等)

- ・iPad（動画撮影用として。カメラ、音楽などのアプリを使用）
- ・Skype・YouTube 限定公開（配信ツールとして。）
- ・教材（手作りペープサート、着物やサンタクロースなど手作りまたは市販の衣装など。）

## 5 おすすめポイント

- ・児童は、身近な教員や同じクラスの児童の顔が画面に出てくることで、通常の動画やテレビ番組と変わらない、またはそれ以上に興味をもって視聴することができる。
- ・即時の会話等のコミュニケーションが難しい児童にとって、動画配信は好きな時間に何回でも観ることができるというメリットがある。

## 6 さらに工夫したいこと

- ・表現遊びの授業で取り組んだ「絵本（だるまがモデルのものなど）の内容を実際にやってみよう」の映像も配信し好評であった。コロナ禍で授業参観が中止になった時などにも活用できるようになるなど、定期的な撮影やその保存を工夫することで、活用の幅が広がると思う。